



日本国内 自動車解体事業者様向け

高電圧
ニッケル水素バッテリー
取外し・回収マニュアル

m{ zd{ AXELA

アクセラハイブリッド

DAA-BYEFP

2013年11月

2013年11月
マツダ株式会社

発行 **マツダ株式会社**

カスタマーサービスビジネス企画部リサイクル推進グループ

高電圧バッテリーニッケル水素バッテリーの回収については、
下記にお問い合わせください。

マツダ電池受付センター

TEL 0120 - 119206 (フリーダイヤル)

FAX (082)287 - 5198

フリーダイヤル受付時間 : 9:00 ~ 11:30 13:30 ~ 17:00

(土日祝日等除く)

(2017年7月発行 V1.2)

本マニュアルの内容は予告なく変更する場合があります。

本マニュアルの最新版はマツダのホームページに掲載しています。

トップページ(<http://www.mazda.co.jp/>) > 企業・IR・採用 > CSR

> リサイクル法への取り組み > ニッケル水素バッテリーの回収

の順にアクセスし、ご覧になれます。

<http://www.mazda.com/ja/csr/recycle/>

目 次

1. はじめに
2. アクセラハイブリッドの特徴
3. 高電圧バッテリーの回収・リサイクルシステム概要
4. 高電圧作業 準備品一覧
5. 絶縁手袋 使用前点検
6. 高電圧作業上の諸注意
7. 高電圧バッテリーの取扱いについて
8. 高電圧バッテリー(強アルカリ性)液漏れ時の注意事項
9. 高電圧バッテリー火災時の対応
10. 高電圧バッテリーの引取りをお断りする場合
11. 高電圧バッテリーの取外し方法

別紙

マツダ使用済 高電圧バッテリー引取依頼票



1. はじめに

本マニュアルは、日本国内の自動車解体事業者様向けに作成したものです。


マツダ（株）が製造する一部の車両には、駆動用として高電圧バッテリー（ニッケル水素電池）が搭載されています。ニッケル水素電池を搭載した車両を廃車解体処理する場合には、安全確保のため、車種・型式を確認の上、必ず事前に本マニュアルをお読みいただき、安全な取外し作業を行っていただくと共に、バッテリーの回収にご協力いただきますようお願いいたします。


安全に関する表示について

本書で使用しているマークと意味は以下のようになっています。必ずお読みください。

 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負ったり車両の損傷につながる可能性のあるもの
参考	知っておいていただきたいこと 知っておくと便利なこと

使用済み高電圧バッテリーの安全な回収のために

 警告	<p>(1)事故車、水没車などでは高電圧バッテリーに変形、漏電、液漏れが発生している可能性がありますのでご注意ください。</p> <p>そのような車両から高電圧バッテリーを取外す際は感電、液漏れに対して必要な保護具を装備するなど、安全確保のために十分ご注意ください。また、運搬についてもそのままの状態では運搬できません。</p> <p>いずれの場合もマツダ電池受付センター(TEL.0120-119206)までご連絡ください。</p> <p>(2) サービス・プラグを必ず引抜いてください。</p> <p>高電圧バッテリー取外し作業を行う前に、必ずサービス・プラグを引抜いてください。</p> <p>サービス・プラグを引抜かず高電圧部位の解体、高電圧の配線(オレンジ色)およびそのコネクタの取外し、分解、切断などは生命にかかわるような重大な傷害を引起すおそれがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。</p>
--	---

 注意	<p>転売・譲渡・改造等をしないでください。</p> <p>高電圧バッテリーが適切に回収されずに第三者が高電圧部位等に触れた場合、感電事故などが発生するおそれがあり大変危険です。</p> <p>廃車より取外された高電圧バッテリーは安全上の事故防止のため、速やかな回収を行っていますので、マツダ電池受付センター(TEL.0120-119206)までご連絡ください。</p> <p>適切に回収されず、事故が起こる場合として、次のようなことが想定されます。</p> <p>(1)適切に回収されず、不法投棄または放置され、第三者が高電圧部位に触れてしまい、感電事故が発生する。</p> <p>(2)用途(専用のハイブリッド車)以外で高電圧バッテリーを使用(改造等を含む)し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、アルカリ電解液漏出事故等が発生し、人体に重大な危害や周辺の物に損害を加える。特に、転売・譲渡等を行いますと、相手方でこれらの危険性が認識されず、事故につながり易くなります。</p>
--	--

マツダ(株)では転売・譲渡等による専用車両以外への高電圧バッテリー使用(改造等を含む)による事故・損害等については責任を負いかねます。

転売・譲渡等の結果、事故防止を目的とする使用環境の制限、使用条件の制限、設置据付条件の制限、使用前準備の制限、使用者の制限、予測される誤使用の禁止、保守・点検、異常時の処置等についての告知がされないことにより、その後の使用者等において危険性が認識されず、事故につながるおそれがありますので、転売・譲渡等は行わないでください。事故が起こった場合、転売・譲渡等を行った事業者等の責任が問われる可能性があります。

高電圧バッテリーの所有権は、解体事業者様が運搬業者に引渡した時点で、解体事業者様から移転するものとします。

2. アクセラハイブリッドの特徴

当車両は、200V以上の高電圧システムを備えています。

(1) 高電圧に対する車両の安全対策

1) 安全対策

•高電圧に対し、以下の安全対策を施しています。


絶 縁	•高電圧回路は、プラス/マイナス両極とも車体と絶縁しています。
接触防止	•電圧電導部に直接触れられないよう、高電圧部位や高電圧ハーネスにはケース/カバーを設定しています。
等電位化	•高電圧部品のケース/カバーと車体間を等電位化(電氣的に接続)することで、漏電発生時の感電対策を施しています。
識 別	•高電圧部品には警告ラベルを貼付けし、高電圧ハーネスはオレンジ色の被服で統一しています。

2) 高電圧システムの遮断

•当車両は、ケガまたは事故に繋がる危険性を最小限にするため、以下の高電圧回路を遮断するシステムを備えています。

サービス・プラグ	•高電圧バッテリーの中間電位にあり、手動で引抜くことにより高電圧回路を遮断します。
システム・メイン・リレー	•高電圧バッテリーの入力部に位置し、自動的に高電圧回路の接続/遮断を行います。また、エア・バッグ展開時などの衝突時やシステム故障時も、自動的に高電圧回路を遮断します。

(2) 高電圧ハーネスおよび機器の識別

 警告	・高電圧機器およびハーネスは以下を行い、他の部位との識別を行っています。 絶縁手袋を装着していない状態で、高電圧遮断前の高電圧ハーネス、高電圧コネクタおよび高電圧警告ラベルが貼付けられている機器には、絶対に触れてはいけません。
---	--

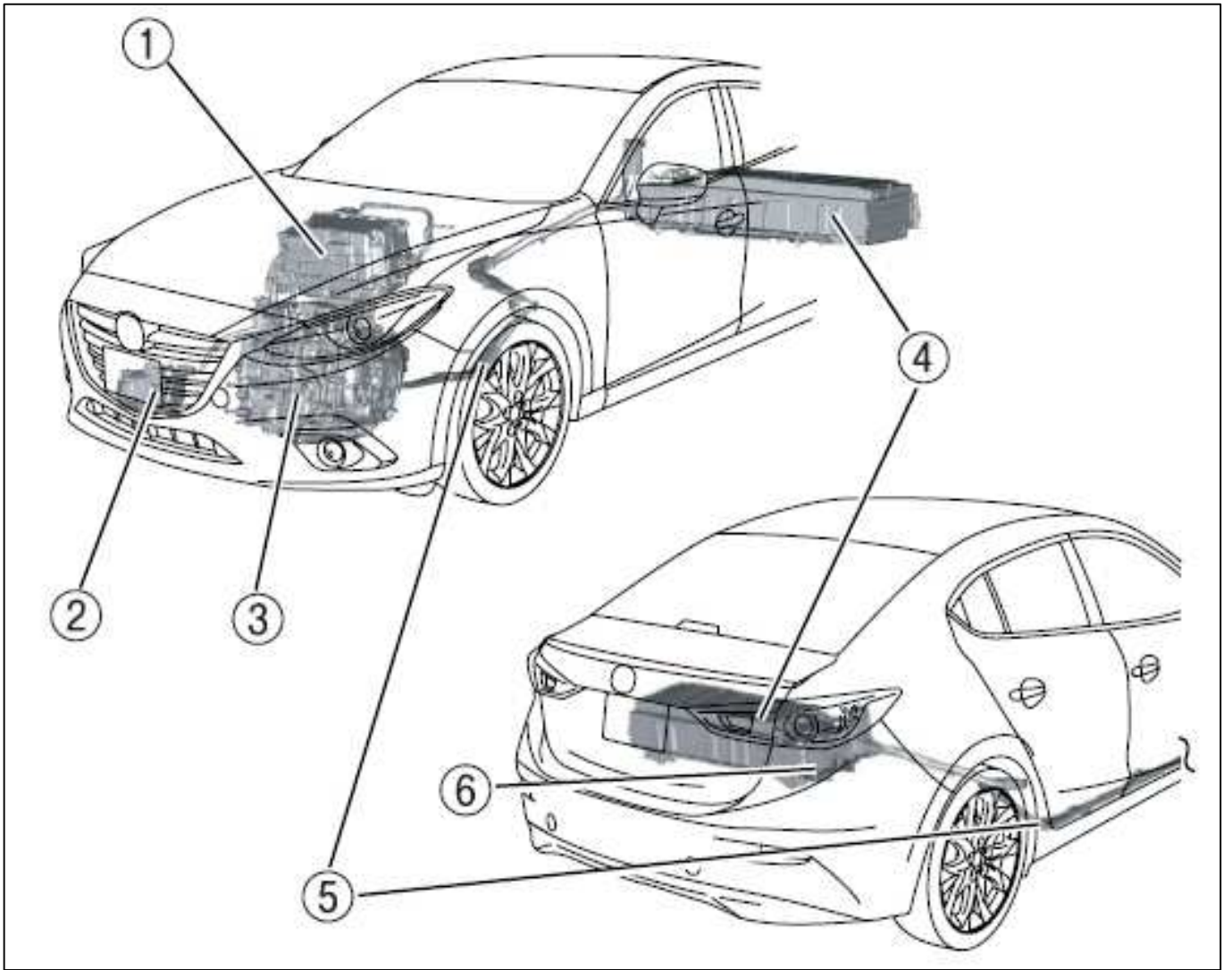
- 高電圧ハーネスおよびコネクタをオレンジ色の被覆で統一しています。
- 高電圧機器（高電圧バッテリーおよびパワー・コントロール・ユニット）に内部が高電圧であることを示す警告ラベルを貼付けています。

 WARNING 警告 تحذير AVERTISSEMENT предупреждение HIGH VOLTAGE INSIDE 内部高電圧 内部高电压 عالية داخلية HAUTE TENSION À L'INTÉRIEUR ВЫСОКОЕ НАПРЯЖЕНИЕ ВНУТРИ DO NOT remove these covers and/or connectors. このカバーおよびコネクタは絶対に取り外さないでください。 不要拆卸这些盖子和/或连接器。 لا تتمد إلى نزع الغطاء والموصل NE PAS enlever ces couvercles et connecteurs. не убирайте эти крышки и/или коннекторы。	 警告 WARNING エンジンルーム内作業時は、メータ内のREADY ランプが 消灯していることを確認してください TO AVOID INJURY, PLEASE MAKE SURE THAT THE READY LAMP ON THE METER IS OFF BEFORE WORKING IN THE ENGINE COMPARTMENT. (B45L)
 危険 内部高電圧 / アルカリ電解液封入 NI-MH ●内部高電圧のため、修理技術者以外の方は絶対に分離や修理を行わないでください。感電のおそれがあります。 (修理、交換は担当の販売店にご相談ください。) ●アルカリ電解液が目、口、衣服についたときは、直ちに多量の水道水で洗い、洗浄後直ちに医師の 治療を受けてください。失明や口づ焼きになるおそれがあります。 ●鉛中毒を防ぐために二重蓋をください。 ●破裂させるような外部衝撃（フォークリフトによる突き刺しや落下等）を考慮しないでください。 また、火に近づけたり、火中投下しないでください。破裂時は火がつかからない場所においてください。 腐敗による火災の発生およびアルカリ電解液の漏れのおそれがあります。 修理技術者の方へ 整備・分解・修理時には修理書をご覧ください。 バッテリー リサイクル インフォメーション 修理時の電池の取り外し及び回収費用については下記URLを参照ください。 http://www.mazda.co.jp/oss/evn/innomest/racgpl/ingifa.html ご連絡はマツダ電池回収センターまで。03-2-01119-206	

(3) 高電圧部品

•高電圧部品は、以下のとおり配置されています。

番号	構成部品	配置	説明
	パワー・コントロール・ユニット (昇圧コンバーター/ インバーター/ DC-DCコンバーター)	エンジンルーム	<ul style="list-style-type: none"> •READY ON中は常に高電圧バッテリーの約200Vが印加されています。 •昇圧(約650V)/降圧(約12V)と直流/交流の変換を行います。
	電動コンプレッサー	エンジンルーム	<ul style="list-style-type: none"> •高電圧で作動するエアコン専用のコンプレッサーで、エアコン冷媒を圧縮します。
	トランスアクスル (モータージェネレーター)	エンジンルーム	<ul style="list-style-type: none"> •インバーターにより制御された電力を動力(回転力)に変換します。
	高電圧バッテリー	リヤシート後部 (トランクルーム内前方)	<ul style="list-style-type: none"> •車両駆動用の電力を蓄え出力します。ニッケル水素電池を採用しています。
	高電圧ハーネス	エンジンルーム 車両下部 リヤシート後部 (トランクルーム内前方)	<ul style="list-style-type: none"> •高電圧バッテリーと高電圧部品を接続するオレンジ色ハーネスで、各部へ高電圧を供給します。
	サービス・プラグ	リヤシート後部 (トランクルーム内前方)	<ul style="list-style-type: none"> •高電圧回路を、手動で機械的に遮断します。



3. 高電圧バッテリーの回収・リサイクルシステム概要

- (1) 高電圧バッテリーは、下図の流れで引取られ、リサイクルされます。
- (2) なお、高電圧バッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、発火・発煙などの恐れがありますので、必ず取外しをお願いします。

の順序で高電圧バッテリーは回収されます。

解体事業者様がマツダ電池受付センターに電話(フリーダイヤル)で回収を依頼

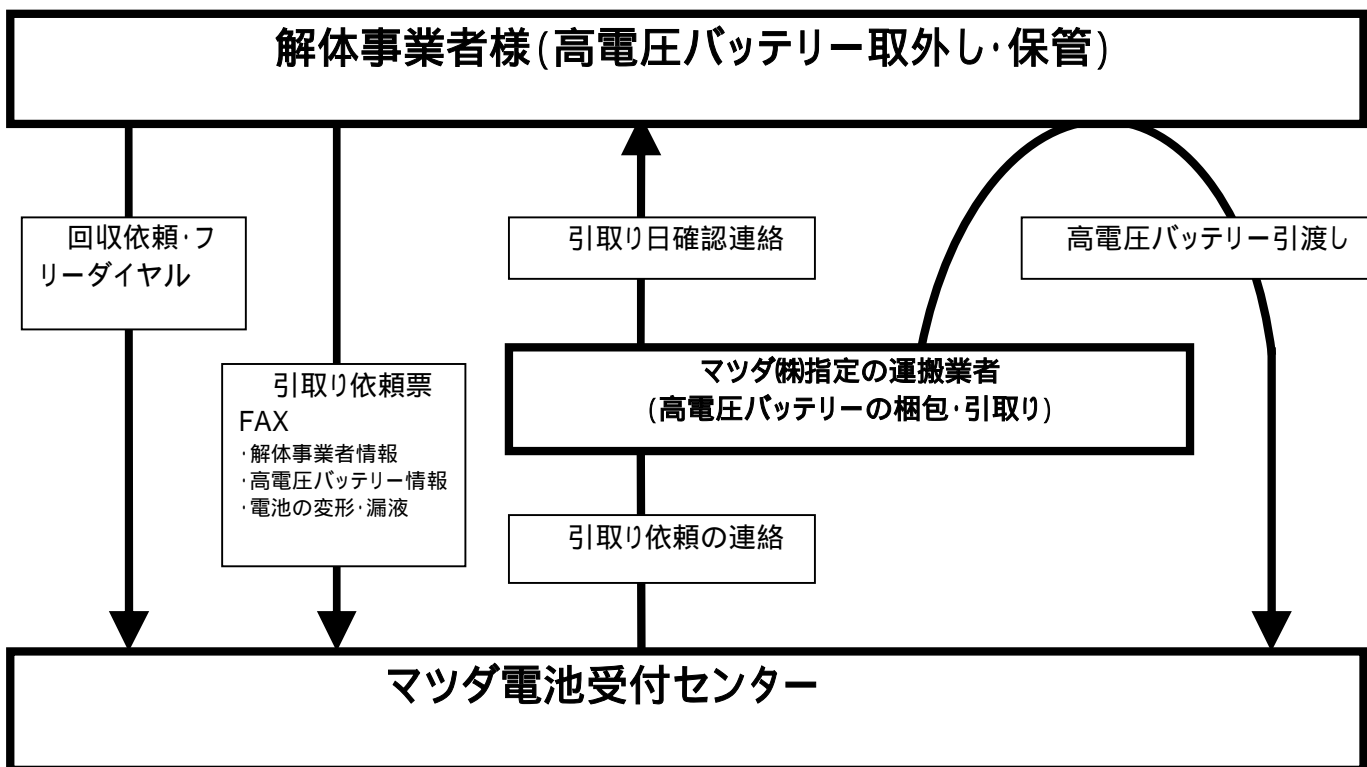
解体事業者様が『マツダ使用済高電圧バッテリー引取依頼票』(別紙)に必要事項を記入後、

マツダ電池受付センターへFAX送信

マツダ電池受付センターから指定の運搬業者にバッテリーの引取り依頼を連絡

後日、運搬業者より解体事業者様に、高電圧バッテリー引取日時の確認を電話にて実施

解体事業者様がマツダ(株)指定の運搬業者に引渡し



(3) 解体事業者様の具体的な作業は以下のとおりお願いします。

1) 高電圧バッテリーの取外し・保管

(P.12以降の「留意点・取外し方法」を必ずお読みください。)

2) ホームページからマツダ使用済高電圧バッテリー引取依頼票を入手し、必要事項を記入してください。

ホームページアドレス

<http://www.mazda.com/ja/csr/recycle/>

(注)インターネットへの接続環境が無い場合は電話でご連絡ください。

その際に、高電圧バッテリーの状態(破損等)をお知らせください。

TEL. 0120 - 119206 FAX. 082 - 287 - 5198

受付時間: 9:00 ~ 11:30 13:30 ~ 17:00 (土日祝日等を除く)

3) 解体事業者様がマツダ電池受付センターへ電話(フリーダイヤル)で回収を依頼してください。

4) マツダ使用済高電圧バッテリー引取依頼票をFAXにて受付センターへお送りください。

5) 後日、運搬業者が伺いましたら、FAXにて送付されたマツダ高電圧バッテリー引取依頼票を運搬業者に提示し、照合・確認してもらってください。

高電圧バッテリー取外し手数料: 2,500円/個 (消費税別途)

金額は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

6) 引渡先に関する注意

解体事業者様が、マツダ電池受付センターに連絡することなく、独自に運搬業者に引渡した場合は、すべての必要費用は解体事業者様のご負担となりますので、ご注意ください。

7) 高電圧バッテリーの所有権

高電圧バッテリーの所有権は、解体事業者様が運搬業者に引渡した時点で、解体事業者様から移転するものとします。

8) 高電圧バッテリーの梱包方法

- 高電圧バッテリー内部に水、異物等が入らないように、送風口周辺(コンピュータ等)をビニールシート、ガムテープ等でカバーしてください。
- 「サービス・プラグ取外し済」とガムテープ等に明記し、回収事業者が確認できるよう貼付けてください。

高電圧バッテリーの梱包方法については、マツダ電池受付センターより必要書類とともにご送付・ご案内いたします。


4. 高電圧作業 準備品一覧

当車両の高電圧作業を行う際には、以下の準備品を用意してください。

準備品一覧

準備品	用途
保護具 (絶縁手袋、安全靴、保護ゴム手袋、保護メガネ)	<ul style="list-style-type: none">• 作業者の感電事故を防止する。• 高電圧バッテリー電解液が漏れている際に皮膚や目を保護する。
絶縁テープ	<ul style="list-style-type: none">• 破損したハーネスまたは取外した 12V バッテリー端子の絶縁処理に使用する。• ハーネス等の絶縁処理に使用する。
リトマス試験紙 (赤) (薬局等で購入可能)	<ul style="list-style-type: none">• 漏れている液体のpH確認のために使用する。
飽和ホウ酸水 (20L (薬局で粉末のホウ酸800gを購入し、容器に入れ20Lの水で溶かす))	<ul style="list-style-type: none">• 漏れている高電圧バッテリー電解液(強アルカリ性)の中和に使用する。
吸着マット、ウエス	<ul style="list-style-type: none">• 油脂類、高電圧バッテリー電解液を吸着する。
消火器 (ABC消火器)	<ul style="list-style-type: none">• 火災の初期消火に使用する。

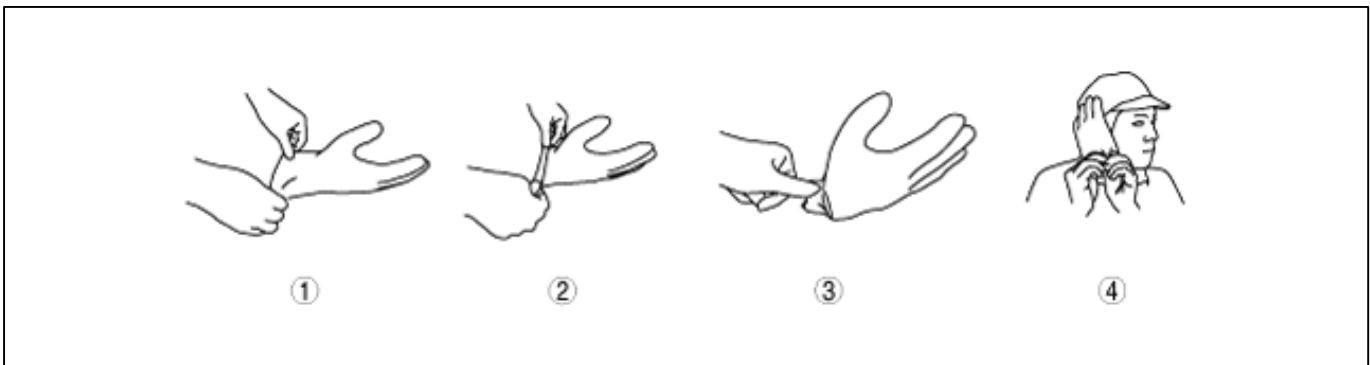
5. 絶縁手袋 使用前点検

 警告	<ul style="list-style-type: none">• 高電圧作業を行う際に異常がある絶縁手袋を使用すると、感電し重大災害を引起すおそれがある。絶縁手袋使用时には使用前点検を行い、異常がないことを確認する。
	<ul style="list-style-type: none">• 絶縁手袋の使用前点検では息を吹き込んでの点検は行わない。絶縁手袋内の湿潤が原因で感電し重大災害を引起すおそれがある。

- 作業者本人が、使用する保護具および工具の老朽や破損状態について使用前点検を行う。
- 絶縁手袋は、必ず使用前に次の方法で、傷、穴、破れ、ひび割れなどの損傷が無いことを確認する。また、湿潤した絶縁手袋は使用しない。


- (1) 絶縁手袋全周に傷がないことを目視により確認する。
- (2) 絶縁手袋の袖口を広げ、空気を入れる。(図)
- (3) 空気が漏れないように手首のあたりまで袖口を巻込む。(図)
- (4) 袖口を折りたたみ密閉する。(図)
- (5) 空気の漏れがないか手袋を耳にあて確認する。(図)

参考	<ul style="list-style-type: none">• 絶縁手袋に穴および破れがある場合、「シュー」音がする。
-----------	---



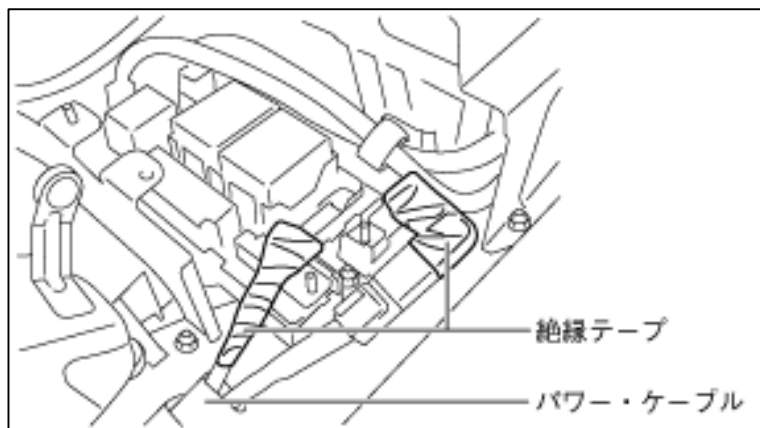
6. 高電圧作業上の諸注意

(1) 高電圧部位(部品)に関する注意事項

 警告	<ul style="list-style-type: none"> 当車両が有する高電圧部品の取外し作業は、労働安全衛生法が定める危険業務に該当する。そのため、高電圧部品の取外し作業は低圧電気取扱特別教育を受講した作業者が行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧部品の取外し作業は、絶縁手袋を着用して行う。絶縁手袋を着用せずに高電圧部品に触れると、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧部品の取外し作業は、サービス・プラグを取外して10分経過した後に開始する。サービス・プラグを取外さずに作業したり、サービス・プラグを取外して10分経過しないうちに作業したりすると、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。
	<ul style="list-style-type: none"> サービス・プラグの取外しは、高電圧部品を取外す作業者が行う。取外したサービス・プラグは、高電圧部品の取外しが終わるまで作業者がポケットに入れる等して携帯し、他の作業者が誤ってサービス・プラグを取付けることがないようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧部品の取外し作業中にタイヤを回転させない。タイヤが回転すると発電が行われるため、サービス・プラグを取外していても、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧部品の取外しをする際は、車両に"高電圧作業表示"を設置し、他の作業者に注意喚起する。
	<ul style="list-style-type: none"> ペースメーカー等、電子医療機器を装着している方は絶対に作業を行わない。また、キャッシュカード、プリペイドカード等、磁力の影響を受け故障するおそれのある磁気記録媒体を身に着けて作業を行わない。当車両には強力な磁石が用いられている部品があり、電子機器に大きな影響を与えるおそれがある。作業時は十分注意する。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧回路のケーブル類(オレンジ色)や高電圧に関わる部品(高電圧警告ラベルが貼り付けられている機器)には不用意に触らない。感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。
<ul style="list-style-type: none"> 取外した高電圧バッテリーは、雨水に濡れないよう車両に搭載されていた姿勢で保管する。サービス・プラグは、抜いた後は再取り付けしない。水がかるとショートによる発熱が原因で火災が発生する危険性がある。 	

(2) 高電圧コネクタおよび端子の絶縁処理

- 絶縁被覆のない高電圧端子に触れる場合は、絶縁手袋を着用し、事前にテスターで電圧が0Vであることを確認します。
- 切離した高電圧コネクタは、端子が露出しないようにコネクタ切離し後、ただちに絶縁テープで保護します。



(3) 作業中の携行禁止品

- 当車両は高電圧部位があるため、金属製のスケール、シャープペンシル、ネックレスなどのアクセサリが作業時に高電圧部位へ落下した際に短絡し、アークの飛散、部品の損傷につながります。作業前に金属製品は取外します。
- 当車両は、強力な磁力を持つ部品が使用されており、高電圧作業を行う際に磁気記録媒体（キャッシュカード、プリペイドカードなど）を携行していると、記録データを破壊するおそれがあります。高電圧作業時は、磁気記録媒体を身に付けないでください。

(1) 高電圧作業中の標示板

- 高電圧作業時は、“高電圧作業中であること”を周囲の人に注意喚起するため、「高電圧作業中 触るな!」の標示を行います。(次頁をコピーしてご活用ください)

サービス・プラグ取外し後の高電圧端子部の電圧が0Vであることが確認できない等（P.24参照）異常があった場合、その他ご不明の点は、直ちにマツダ電池受付センター（TEL. 0120-119206）までご連絡ください。

のりしろ

山折り

担当

中 高 電 圧 作 業 中
触 る な !!



山折り



高 電 圧 作 業 中
触 る な !!


担当

山折り


のりしろ

7. 高電圧バッテリーの取扱いについて

(1) 高電圧バッテリー取外し時の注意事項



 注意	<ul style="list-style-type: none"> 使用済みとなった車の高電圧バッテリーは基本的に充電状態にあり、高電圧バッテリー本体が破損した場合、スパークや発火、液漏れ事故の原因となるため、ニブラ(自動車解体機)や重機など、高電圧バッテリー本体を破損させるおそれのある方法で取出すことは絶対にしない。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧ケーブル類(オレンジ色)は、絶対に切断しない。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーを破損させるような衝撃を与えない。 (車載のままプレス・フォークリフト等による突き刺し・高所からの落下等)
	<ul style="list-style-type: none"> 外部電源を用いて高電圧バッテリーを充電 / 放電しない。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーを45°以上傾けない。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーの端子部は、絶縁手袋を着用し、絶縁テープを貼り絶縁する。
	<ul style="list-style-type: none"> 本マニュアルの取外し方法に記載した事項以外の高電圧バッテリーの分解は、絶対にしない。

(2) 高電圧バッテリー保管時の注意事項

 注意	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーの端子部は、絶縁手袋を着用し、絶縁テープを貼り絶縁する。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーを火に近づけたり、加熱したりしない。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーを水がかかる場所に放置しない。水がかるとショートによる発熱が原因で火災が発生する危険性がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 車載状態と同じ向きで保管する。(45°以上傾けたり、縦に置いたりしない)
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーは40℃以下の環境で保管する。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーの保管期間は3か月を目安とする。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーを金属など導電性のある面上に保管しない。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーを密閉容器に入れない。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリー下面には、絶縁素材(ゴムなど)のマットなどを敷く。
	<ul style="list-style-type: none"> 高電圧バッテリーの上に物を置かない。


8. 高電圧バッテリー(強アルカリ性)液漏れ時の注意事項

高電圧バッテリー付近に液漏れの可能性がある場合、速やかにマツダ電池受付センター(TEL.0120-119206)に連絡し、取扱いについての指示を受けてください。

 警告	<ul style="list-style-type: none">高電圧バッテリーの電解液は強アルカリ性のため、電解液が漏れている場合は、素手で触れない。漏れた電解液は飽和ホウ酸水(薬局で粉末のホウ酸800gを購入し、容器に入れ20Lの水で溶かす)で中和したのち、保護メガネ、保護ゴム手袋を着用してウエス等で拭取る。
	<ul style="list-style-type: none">電解液が直接皮膚に触れた場合、直ちに飽和ホウ酸水または多量の流水でよく洗い流す。電解液がかかった衣服はすぐに脱ぐ。
	<ul style="list-style-type: none">電解液に触れたり目に入ったりした場合は多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受ける。
	<ul style="list-style-type: none">万一、電解液を吸入した場合は、直ちに被災者を毛布等に包んで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診断を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。
	<ul style="list-style-type: none">万一、電解液を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、多量の水を飲ませて電解液を薄めて、速やかに医師の診断を受ける。
 注意	<ul style="list-style-type: none">電解液漏出時に使用した吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事時の許可を受けた専門の産廃業者に委託する。
参考	<ul style="list-style-type: none">車両周辺に液漏れがある場合、リトマス試験紙により pH を確認する。リトマス試験紙(赤色)が青色に変わった場合、漏れている液体はニッケル水素バッテリー電解液の可能性があるので、飽和ホウ酸水で中和し、保護メガネ、保護ゴム手袋を着用し、ウエスなどで拭き取る。

9. 高電圧バッテリー火災時の対応

- 車両火災が発生している場合は、直ちに消防署へ通報し、可能であれば初期消火を実施してください。
- 車両を離れる場合には、消火作業に当たる人に、当車両がハイブリッド車(高電圧を有する車両)であることを伝え、注意喚起してください。

 警告	<ul style="list-style-type: none">• 火災時に消火器を使用する場合は、ABC消火器 普通火災、油火災 (ガソリン、石油などによる火災)、電気火災(電気配線、電気機器などによる火災)に有効な消火器 を使用する。
	<ul style="list-style-type: none">• 火災時に水で消火する場合、消火栓などから大量の放水が可能となきのみ行う。少量の水での消火作業は危険なため、消火は行わず安全な場所に避難し、消防隊の到着を待つ。


10. 高電圧バッテリーの引取りをお断りする場合

- 高電圧バッテリーは高電圧を伴う自動車部品のため、本マニュアルに従った適切な取扱いが必要です。本マニュアルに従わず、高電圧バッテリーを分解したもの、あるいはニブラや重機等を使用して取外す等、不適切な取扱いによって損傷等を生じた高電圧バッテリーは非常に危険な状態となり、回収時等の事故発生の原因にもなりますのでお引取りできません。
- マツダ(株)が国土交通省に届け出をした部品(高電圧バッテリー)以外は、マツダ(株)ではお引取りいたしませんので、あらかじめご承知おきください。
- その他特別な対応が必要と思われる状態の高電圧バッテリーの取扱いにつきましては個別にご相談ください。

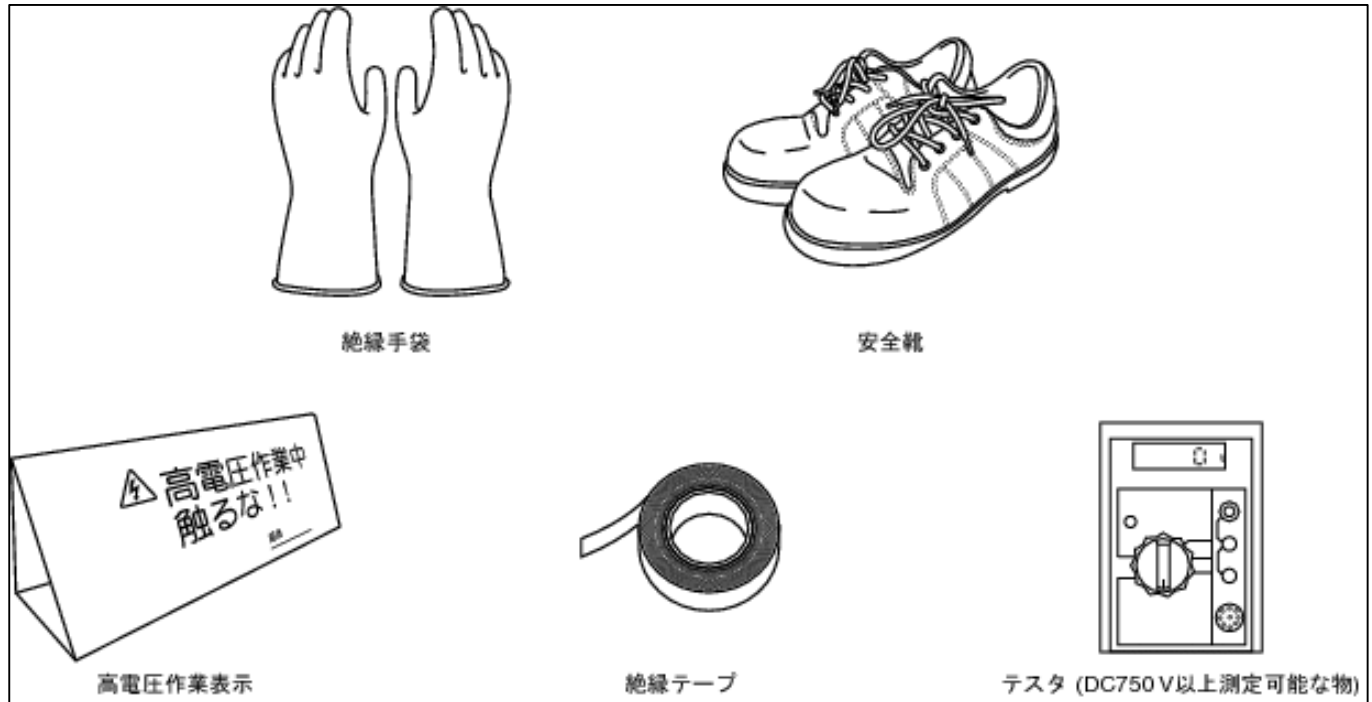
お引取りできない事例

- (1) サービス・プラグを取外していないもの
- (2) 高電圧回路のケーブル類(オレンジ色)を切断したもの
- (3) ニブラや重機等を用いて高電圧バッテリーを取外したため、高電圧バッテリーが破損・変形したもの
- (4) 高電圧バッテリーケースを取外したもの
- (5) 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

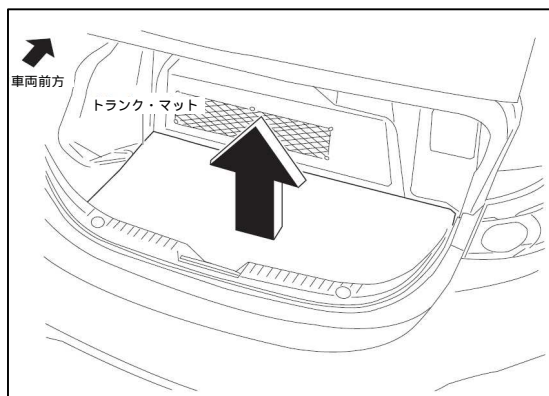
11. 高電圧バッテリーの取外し

 警告	<ul style="list-style-type: none">高電圧バッテリー取外し作業を行う前に必要な処置を怠ると感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。高電圧バッテリー取外し作業を行う前には、「6. 高電圧バッテリーの取扱いについて」を参照し、必要な処置を講じてから作業を開始する。
---	--

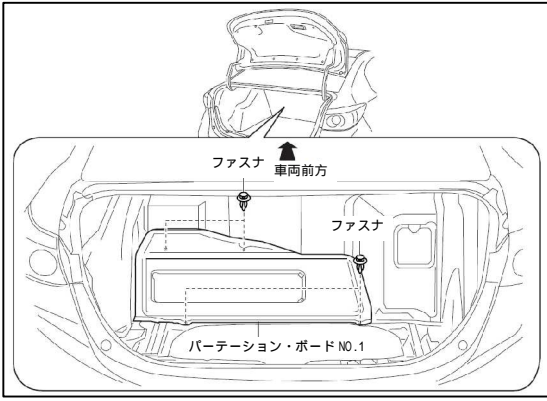
準備品一覧



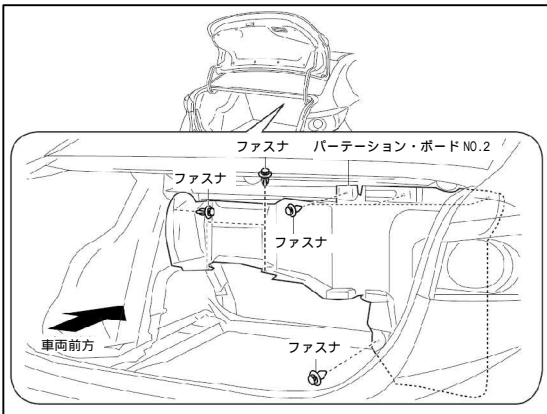
- (1) コンビネーション・メータ内の READY インジケータが点灯していないことを確認する。
 - READY インジケータが点灯している場合は、電源ポジションを OFF にする。



- (2) トランク・マットを取外す。




(3) パーテーション・ボード No.1 を取外す。




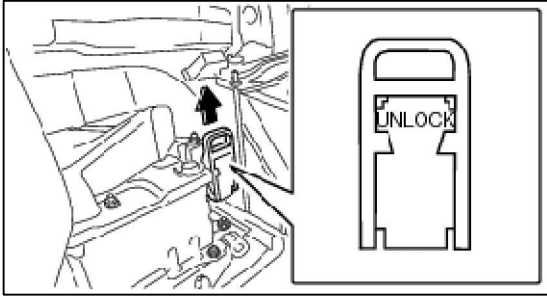
(4) パーテーション・ボード No.2 を取外す。

(5) 12V バッテリー(-)ケーブルを切離す。

(6) 絶縁手袋を着用し、以下の手順でサービス・プラグを取外す。

 警告	<ul style="list-style-type: none"> • 車両側端子部に触れると、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。そのため、サービス・プラグを取外した後は、車両側端子部を絶縁テープで覆い隠し、車両側端子部に触れることができないようにしておく。
	<ul style="list-style-type: none"> • サービス・プラグを取外してから 10 分間は、高電圧部品に触れないこと。サービス・プラグ取外し後 10 分間はコンデンサに電荷が蓄えられており、その間に高電圧部品に触れると感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがある。
	<ul style="list-style-type: none"> • サービス・プラグは、高電圧部品を点検 / 脱着する作業者が取外す。取外したサービス・プラグは、高電圧部品の点検 / 脱着が終わるまで携帯し、他の作業者が誤ってサービス・プラグを取付けることがないようにする。

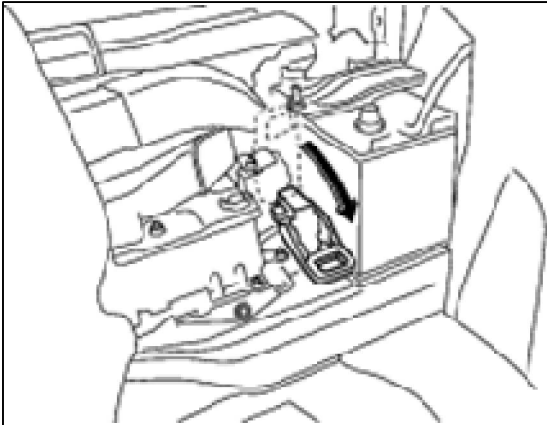
 注意	<ul style="list-style-type: none"> • サービス・プラグを携帯する場合は、サービス・プラグ端子部の破損を防ぐために、サービス・プラグ端子側を絶縁テープで覆う。
---	---



1) 「カチッ」と音がするまで、レバーを上方に引き上げる。

参考

•このとき、サービス・プラグ部に「UNLOCK」が表示される。



2) レバーを手前に倒す。

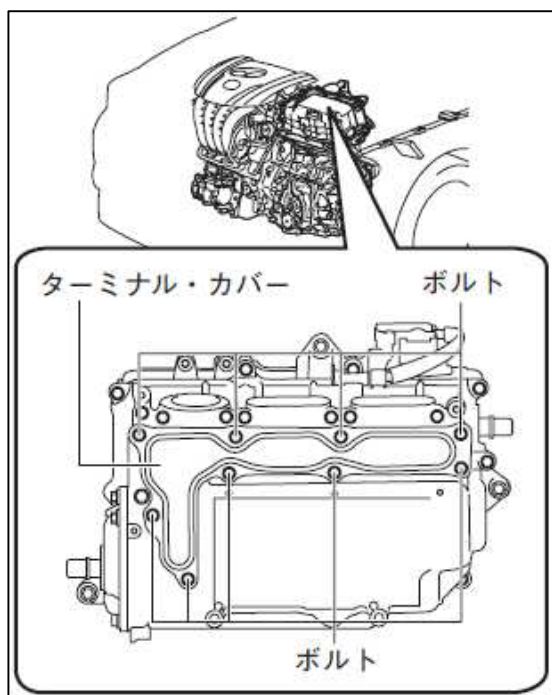


3) サービス・プラグを手前に引き抜く。

(7) サービス・プラグ取り外し後、10分間放置する。

(8) 絶縁手袋を着用し、以下の手順でパワー・ケーブル接続部(PCU側)の電圧を測定する。

1) 図に示すボルトを取外す。

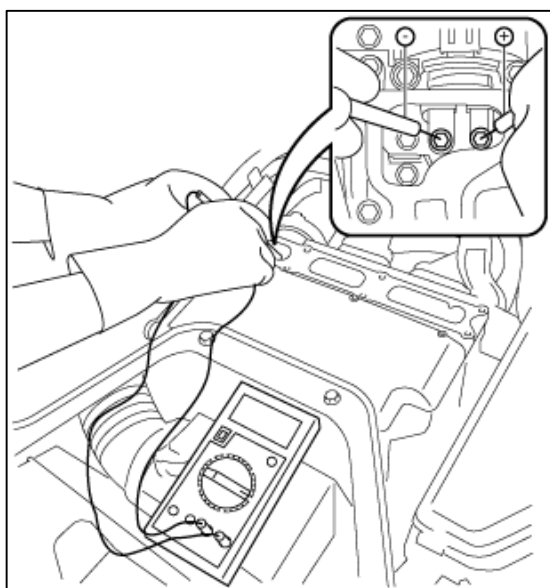


2) ターミナル・カバーを取外す。

3) パワー・ケーブル接続箇所の電圧を測定する。

参考

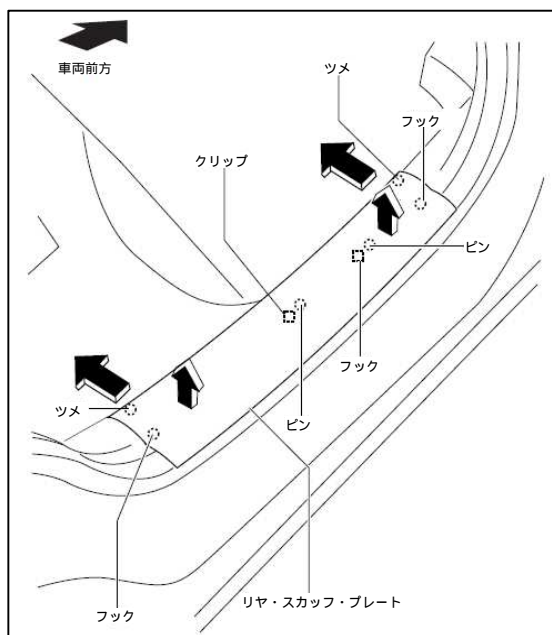
• テスターの測定レンジは、DC750V 以上を使用する。



• テスターが 0V を示していることを確認して、次の手順に移る。

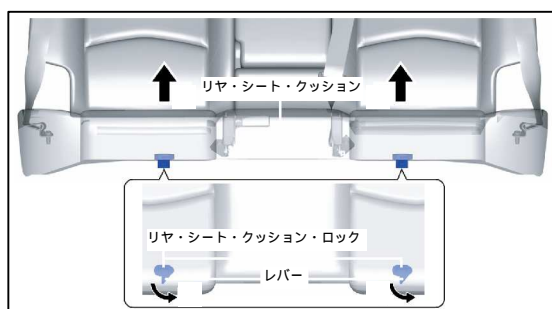
4) ターミナル・カバーを取付ける。

(9) リヤ・スカッフ・プレートを取外す。

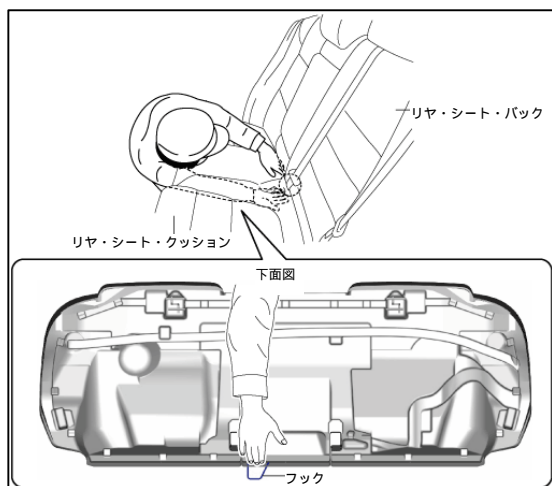


(10) リヤ・シート・クッションを取外す。

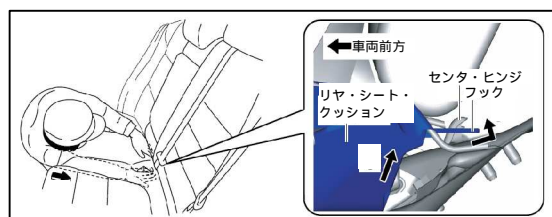
1) 図に示す矢印 の方向にリヤ・シート・クッション・ロックのレバーを動かした状態で、矢印 の方向にリヤ・シート・クッションを持ち上げ、リヤ・シート・クッション・ロックとリヤ・シート・クッションの嵌合を外す。



2) 図に示す姿勢で、リヤ・シート・クッションの下側からフックを触れる位置まで右手を差込み、左手をリヤ・シート・クッションとリヤ・シート・バックの間に差込む。

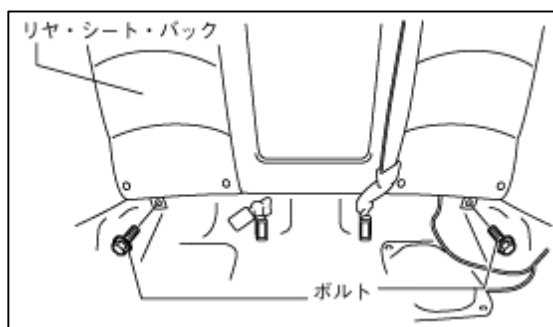


3) 図に示す矢印 の方向にリヤ・シート・クッションを押しながら、矢印 の方向にフックを持ち上げ、矢印 の方向にフックを動かしてセンタ・ヒンジからフックを外す。

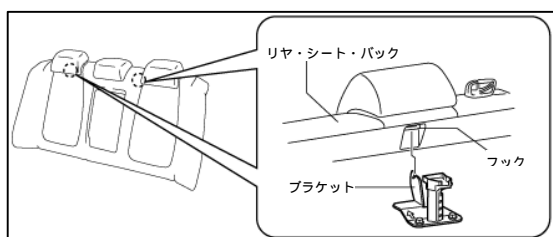


(11) リヤ・シート・バックを取外す。

1) 図に示すボルトを取外す。



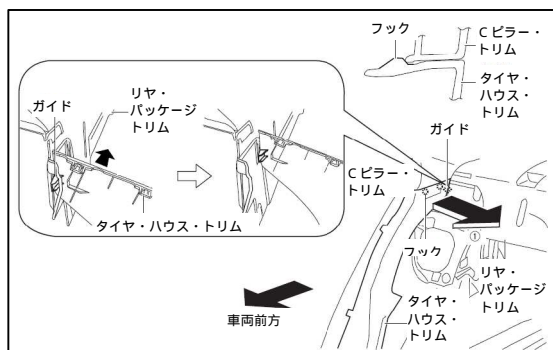
2) リヤ・シート・バックを上を持ち上げ、ブラケットからフックを取外す。



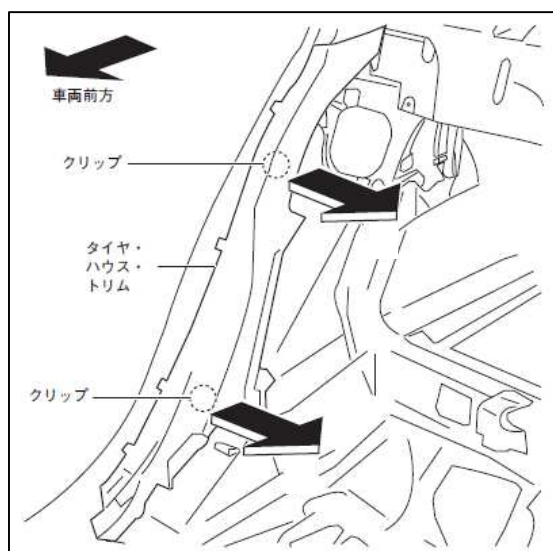
(12) タイヤ・ハウス・トリムを取外す。

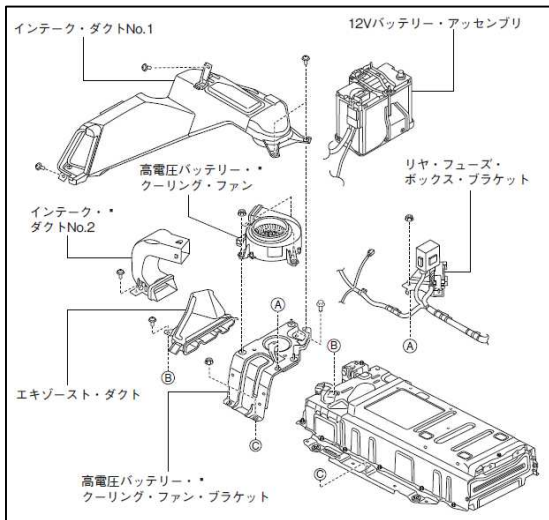
1) シーミング・ウェルトをめくる。

2) タイヤ・ハウス・トリムを図に示す矢印 の方向に動かし、Cピラー・トリムからフックを、リヤ・パッケージ・トリムからガイドを取外す。



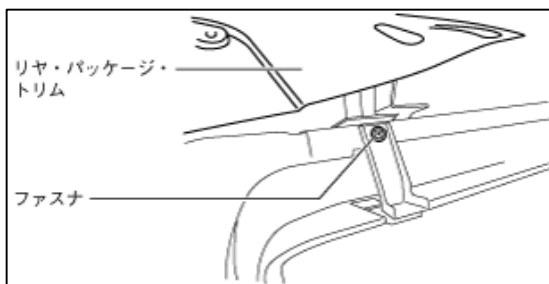
3) タイヤ・ハウス・トリムを図に示す矢印 、 の順に動かす。





(13) 以下の部品を取外す。

- 1) インテーク・ダクト No.1
- 2) 12V バッテリー・アッセンブリ
- 3) インテーク・ダクト No.2
- 4) リヤ・フューズ・ボックス・ブラケット
- 5) 高電圧バッテリー・クーリング・ファン
- 6) エキゾースト・ダクト
- 7) 高電圧バッテリー・クーリング・ファン・ブラケット

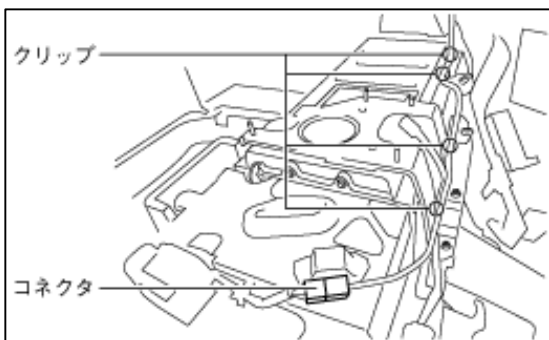


・インテーク・ダクト No.1 取外し時の留意点

- リヤ・パッケージ・トリムのファスナを取外し、リヤ・パッケージ・トリムをめくってインテーク・ダクト No.1 のファスナを取外す。

(14) 12V バッテリー・トレイを取外す。

(15) 絶縁手袋を着用し、高電圧バッテリー・カバーを取外す。

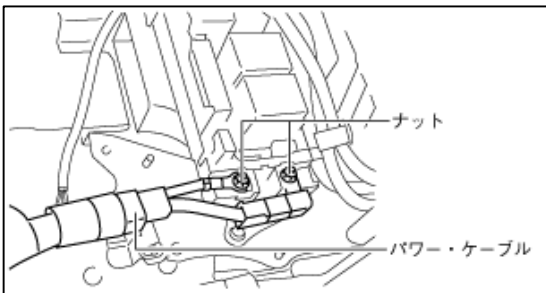
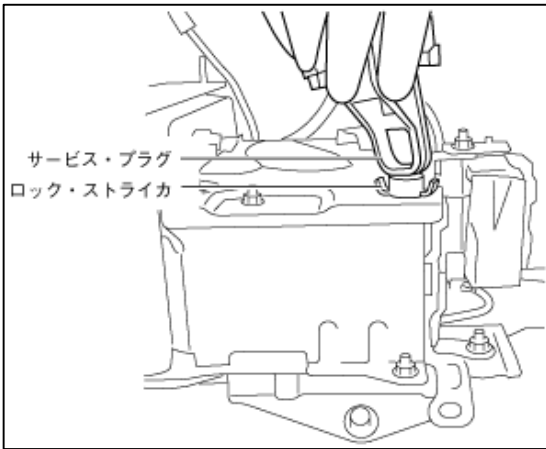


- 1) 図に示すハーネス・クリップおよびコネクタを切断し、ハーネスを作業の妨げにならない箇所によける。

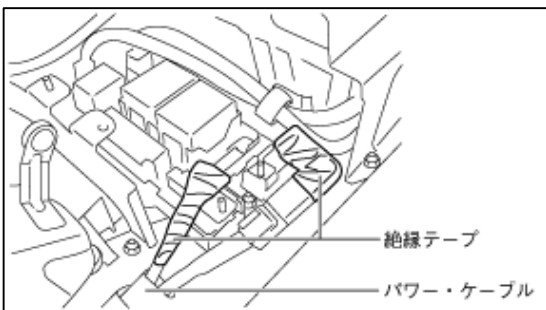
2) サービス・プラグを使用して、ロック・ストライカを取外す。

参考

• サービス・プラグのレバー先端にある突起を、ロック・ストライカ上部の穴に差込んで回す。




(16) 絶縁手袋を着用し、図に示すナットを取外して、パワー・ケーブルを切離す。



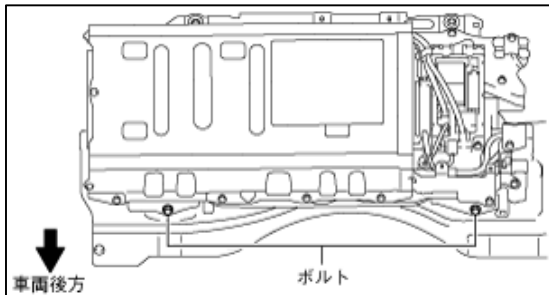
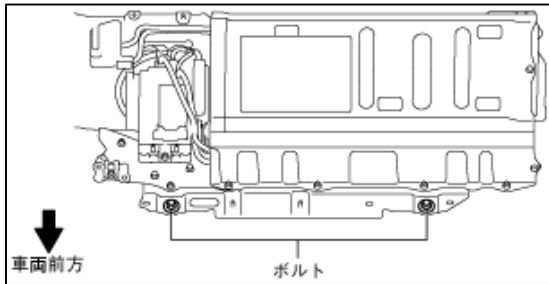
(17) 絶縁手袋を着用し、パワー・ケーブルに絶縁テープを巻いて絶縁する。

(18) 絶縁手袋を着用し、以下の手順で高電圧バッテリーを取外す。

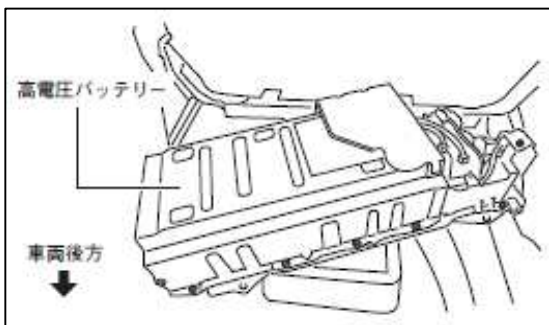
 注意	•高電圧バッテリーを 45° 以上傾けないよう注意する。
---	------------------------------

参考	•高電圧バッテリーは 2 人で運搬する。
-----------	----------------------

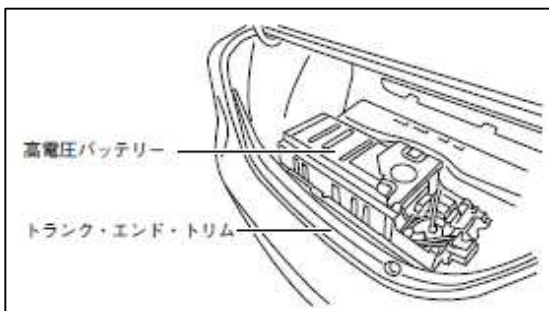
- 1) 高電圧バッテリー取外しのため、作業者 1 人を室内、もう 1 人を車両後方に配置する。
- 2) 高電圧バッテリー取付けボルトを取外す。



- 3) 以下の手順で高電圧バッテリーを車両後方に引出す。
高電圧バッテリー LH 側を引出す。



室内の作業者は車両後方へ移動する。
高電圧バッテリー RH 側を引出す。
高電圧バッテリーをトランク・エンド・トリム付近まで引出す。



高電圧バッテリーをトランク・エンド・トリムに載せ、持ち方を変えるなどして高電圧バッテリーをしっかりと保持した後、運び出す。

マツダ 使用済 HEV バッテリー引取依頼票

別紙 1

(保証修理分は回収対象ではありません)

< 依頼先 >

マツダ電池受付センター 宛

TEL 0120-119206 (フリーダイヤル)

FAX (082)565-2693

ご依頼日	西暦 年 月 日				
回収 ご依頼者 情報	会社名 :		担当者ご氏名 :		
	店舗・営業所 :				
	住所 :〒				
	Eメールアドレス :				
	電話 : () -				
	FAX : () -				
定休日 :					
引取種類	使用済自動車から取り外した廃棄部品 使用過程車から取り外した部品(劣化や故障で使用済となったもの)			(どちらかにチェック)	
車名	(例 アクセラ等)				
車台番号	型式(5桁 - 6桁 例 BYEFP - 123456) : -				
バッテリー 製造番号	9桁(例 145130001) :			記載場所は 別紙参照	
初年度登録 年月	西暦	年	月	走行距離 km	
回収 ご希望日	西暦	年	月 日	受付後、引取に何うまで1週間程度必要です。 直射日光、高温、多湿の場所を避け、風通しが良く、 雨水、海水等で濡れない場所に保管してください。	
バッテリー の状態	確認内容			確認チェック	
	・外観に破損、変形、液漏れはない。(破損等がある場合はその状態を下欄にご記入ください。) HV バッテリーの鉄板やケースが無い場合は、引取りの対象外となりますので、鉄板やケースを 外さないようにしてください。				
	・雨水にぬれない状態で保管されていた。 (雨水でぬれていた場合は屋内に移動させ乾燥させてください。)				
	サービスプラグが外れている事を確認し、サービスプラグのあった部分を絶縁テープで ふさいでください。				
	その他バッテリーの状態(詳しくご記入ください。)				
廃車の状態	わかる範囲で、該当する記号、番号を で困んでお答えください。 廃車理由 : A 通常廃車 B 事故車 C 冠水車 D その他 B の場合の状態 : 1 前部破損 2 後部破損 3 側部破損 4 その他 B の場合のレベル : 1 全損 2 破損部以外修復可 3 修復可 4 その他 C の場合の状況 : 1 水没 2 フロア浸水 3 シート座面浸水 4 不明 【コメント記載欄】 上記質問で、それぞれのその他を選択した場合、具体的に内容を記載ください。				
振込口座 ¹	金融機関名	銀行		支店名	本店・支店
	金融機関コード			支店コード	
	口座種別	1.普通 2.当座		フリガナ	
	口座番号			口座名義	

1)郵便局をご利用の場合はゆうちょ銀行の口座番号をご記入ください。

2)マツダ株式会社は依頼者様の個人情報を引取記録および支払手続きにのみ使用し他の目的には一切使用いたしません。

高電圧バッテリー製造番号記載場所について

製造番号は下図に示すようにバッテリーの側面に貼り付けられたラベルに記載してあります。

